

平成26年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A5	取組 名称	京都歴史資料の調査・活用・公開－舞鶴幼稚園と京田辺市－
研究代表者：	文学部歴史学科	職・氏名：	准教授・東 昇
研究担当者：	京都府立大学 横内裕人 外部分担者・協力者 松本勇介氏（京田辺市教育委員会）・舞鶴市教育委員会・舞鶴幼稚園		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	京都府舞鶴市教育委員会、舞鶴市立舞鶴幼稚園、京都府京田辺市教育委員会		
【研究活動の要約】			
<p>本研究の目的は、舞鶴市・京田辺市両市の歴史資料（舞鶴幼稚園資料約 1000 点・京田辺市所蔵資料約 132 点）を調査し、具体的な事業として活用・公開することである。</p> <p>その活用・公開とは、①舞鶴市では、府下現存最古の舞鶴幼稚園の創立 130 周年（2014 年）において、図録形式の『舞鶴幼稚園 130 年のあゆみ－受けつぐ文化遺産－』を刊行し、関連する展示や講演会を実施した。②京田辺市では、歴史資料を市民ボランティアと共同で調査し、その成果をまとめ報告書（次年度以降刊行予定）の原稿（目録・解題・論考）作成を行った。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>① 舞鶴幼稚園には、幼稚園の父と呼ばれるドイツのフレーベルが考案した「フレーベル恩物」、昭和 2 年日米親善のためにアメリカより贈られ、戦時中の焼却処分から守り抜かれた「青い目のベティさん」、かまどなどの戦前のままごと道具、桃太郎や手書きのイソップ物語などの戦時中の紙芝居、明治 30 年代から現在に至る園児の活動を撮影したアルバムなど、貴重な資料が 1000 点現存する。その調査を行い、特徴的な資料を紹介した 130 周年記念誌『舞鶴幼稚園 130 年のあゆみ－受けつぐ文化遺産－』（A5 版、96 頁、カラー版）を幼稚園と共同で刊行した。内容は 130 年の年表、「写真にみる幼稚園・園児・行事のうつりかわり」「受けつがれてきた教材・遊具・作品」、「幼稚園の思い出を語る」として、貴重な資料の写真を中心とし、見て楽しい図録形式とした。</p> <p>② 京田辺市所蔵の歴史資料調査では、学生と市民ボランティアと共同で調査を 2 回実施した。この取り組みは、地域における異世代間交流の実験、市民みずからがみずからの歴史を学ぶ方法を考える機会となった。</p>			
【研究成果の還元】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2014. 11. 1 舞鶴幼稚園創立 130 周年記念式典において資料展示と講演、参加者約 100 名。 ・ 2014. 11. 1 130 周年記念誌『舞鶴幼稚園 130 年のあゆみ－受けつぐ文化遺産－』（A5 版、96 頁、カラー版）を幼稚園と共同で刊行（府下の図書館で閲覧可能）。 ・ 2014. 9. 9、2015. 1. 16 京田辺市所蔵歴史資料の整理、市民ボランティアと実施、京田辺市立中央図書館・参加者のべ15人。 			
【お問い合わせ先】		文学部歴史学科 准教授：東 昇	
Tel: 075-703-5271		E-mail: n-higashi@kpu. ac. jp	



青い目のベティさん

ベティさん 昭和2年



男の子



青い目の人形は、昭和2年日米の親善交流を願ったアメリカの団体から日本に12000体が贈られた。この人形は日本のひな祭りに飾ってもらおうという趣旨であったが、その後太平洋戦争中敵国アメリカの人形ということで多くは処分され、全国に約300体が現存するのみである。舞鶴幼稚園では、5月11日園長が京都市庁へ人形を受け取りに行き、翌日園で歓迎会が行われた。また幼稚園にはベティさんとともに、珍しい男の子の人形も存在する。

『舞鶴幼稚園 130年のあゆみ—受けつぐ文化遺産—』



2014年9月9日学生と市民ボランティアの調査